

青森県知事

三村 申吾 殿

令和3年産米の価格下落に係る

緊急要望書

令和3年10月7日

青森県町村会

令和3年産米の価格下落に係る緊急要望書

本県町村にとって、農業は地域経済を支える基幹産業であり、特に米はりんごに次ぐ農業産出額を誇る重要な農作物であります。

しかしながら、人口減少に伴う全国的な需要減に加え、長期化するコロナ禍の影響による観光需要の激減や飲食店の営業自粛など業務用米の予期せぬ需要低迷により、令和3年産の米価は、全国各地域において下落している状況にあります。

本県においても、令和3年産米の生産者概算金の目安額は「つがるロマン」で8,200円、「まっしぐら」で8,000円（いずれも60kg当たり）と、いずれも対前年比3,400円減（約3割減）の過去最大の下落幅となり、県内の米の生産費約9,200円を下回る水準であることから、稲作農家は赤字経営を余儀なくされるばかりでなく、稲作の廃業に追い込まれかねない厳しい現状に直面しております。

各町村に対しては、稲作農家や各農協などから厳しい現状を訴える声が多数寄せられており、各町村では稲作農家の経営の安定化と営農意欲を維持するため、地域の実情に合わせた支援策を鋭意検討しているところであります。

つきましては、持続可能な水田農業の維持・発展のため、下記事項について、国に対して働きかけるとともに、県におかれましても特段のご配慮をお願いいたします。

記

- 1 収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）及び収入保険について、可能な限り早期の支払いを行うとともに、生産者が各制度を有効活用できるよう、加入要件の緩和や補償範囲の拡大など、制度の充実について国に働きかけること。

- 2 令和3年産米の概算金大幅下落による減収に加え、肥料等の生産資材価格も高騰していることから、つなぎ融資への利子補給や来年产種子購入に係る費用への助成など、稲作農家の再生産に向けた支援対策を講じること。
- 3 本県の主力米である「つがるロマン」と「まっしぐら」の消費拡大を図るため、消費者ニーズを的確に捉えた販売戦略を一層強化・展開すること。また、「青天の霹靂」がけん引役として県内外における県産米全体の評価向上につながる取組も積極的に推進すること。併せて、酒造好適米である「花吹雪」、「吟烏帽子」の契約数量拡大を図るため、青森県産日本酒の需要及び販路拡大対策を講じること。
- 4 コロナ禍の下、国内の米の消費量減少が今後とも見込まれる中で、政府備蓄米の増枠や水田活用の直接支払交付金の制度の充実、及び機械、設備等購入費用への補助拡充により高収益作物等への転換を一層推進するなど、更なる需給対策を講じることにより、稲作農家が将来にわたって意欲と希望を持って、米の安定生産ができる環境づくりが図られるよう、国に働きかけること。
- 5 令和3年産米の概算金大幅下落による稲作農家の窮状に対し、町村独自で営農意欲を維持するための支援策を実施することとしており、これに対応して令和3年度の新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の更なる予算を確保するよう国に働きかけること。

令和3年10月7日

青森県町村会

会長

船橋茂久